

2020年度は東京オリンピック、パラリンピックイヤーであると同時に、2020年3月にWHOから難聴対策の取り組みとして“World Report on Hearing”が世界に発信され難聴者と我々補聴に携わる者にとって、新たな将来を展望する重要な一年と期待されておりましたが、世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、全ての活動に急ブレーキを余儀なくされてしまいました。そのような状況にありながらも補聴器フィッティングの現場では、十分な感染防止対策とその他様々な工夫により、ウィズコロナの中で、難聴者に寄り添い適正な補聴器供給を実践してまいりました。一般社団法人日本補聴器工業会の発表による2020年の補聴器出荷台数の状況は、一時前年比50%台まで低迷しましたが、徐々に回復傾向を示し、最終的には563,257台（前年比91.9%）と、超高齢社会の中で補聴器が日常生活の必需品として確実に浸透してきたと実感することができました。

コロナ禍での協会活動も、当初は縮小や延期するなど厳しい状況にありましたが、WEB会議システムの活用などで計画した事業を推進できましたので報告いたします。

活動の中心であるHHP研修会は、感染症対策としてオンラインによる研修会に変更し開催いたしました。開催数6回、受講者数350名と、認定補聴器技能者が更に質の高い適合技術によって補聴器の適正供給を推進するための実践的なプログラムとして、多くの会員の皆様に受講していただくことができました。女性会議もオンラインでグループディスカッションを行いました。初めての試みでしたが、活発な意見交換が行われ、参加者から高評価をいただくことができました。オンラインで開催することで移動や時間の問題で今まで参加できなかった会員の参加が可能となり、新たな広がりを感じるすることができました。

また、コロナ禍で注目されている「遠隔フィッティング」についても、メーカーの協力により勉強会を開催し、補聴器の適正な販売としての対面販売との整合性の研究を行いました。対面販売の一部を支援するツールとしての活用法を引き続き研究してまいります。

一般社団法人日本補聴器販売店協会が実施した、厚生労働省医政局補助事業「補聴器販売者の技能向上研修等事業」及び、老人保健健康増進等事業「高齢者に対する補聴器のフィッティングに関する調査研究事業」に参画し、認定補聴器技能者の資格取得の必要性や、高齢難聴者の継続的・効果的な補聴器使用について、超高齢社会における補聴器適正供給の道筋とすべく活動しました。

関係団体、行政、議員等との連携については、コロナ禍における補聴器の適正供給の状況や公的資格化への取り組みなど情報交換を継続してまいりました。

その他各委員会WGの活動の詳細は別に報告させていただきます。

〔会員構成〕

会員の別	期首	期末	増減
一般会員	8名	9名	1名
資格認定会員	623名	628名	5名
準会員	187名	183名	△4名
賛助会員(法人)	8社	8社	0社
賛助会員(個人)	8名	8名	0名
特別会員	0名	0名	0名
会員合計	834名	836名	2名

〔事業報告〕

○特定非営利活動に係る事業について

2020年度の重点活動目標として次の4項目を掲げて活動しました。

1. 補聴器技能者の育成事業（定款第5条第1項1号①）

- ① HHP（Hearing Healthcare Professional）研修会を開催しました。（6回 参加者合計350名）
- ② 会誌「The MiMi Tribune」を発行し、情報提供を行いました。（3回）
- ③ 「補聴器技能者のためのポケットガイド」の周知をしました。
- ④ テクノエイド協会の認定補聴器技能者養成事業等に協力しました。

2. 補聴器技能者の普及啓発事業（定款第5条第1項1号②）

- ① HPに掲載している認定補聴器技能者インタビューを追加更新しました。（4回）
- ② Facebook やメールマガジンで最新情報を提供しました。
- ③ 各地の各種団体が主催する講習会へ講師を派遣する他、ユーザー団体、高齢者団体等へも積極的な交流に務めました。（講師派遣2回）

3. 本法人の関連学会・団体との情報交換及び研究等共同事業（定款第5条第1項1号③）

- ① 各メーカーから遠隔フィッティングに関する情報収集を行い、会員へ報告しました。
- ② 各関連団体と積極的な情報交換を行い、協会活動を推進しました。

4. その他目的を達成するために必要な事業（定款第5条第1項1号④）

- ① 会員名簿を作成し、関係諸団体へ配布しました。
- ② 入会案内チラシをリニューアルして各種講習会等で入会募集活動を行い、77名が新たに入会しました。
- ③ 厚生労働省医政局補助事業「補聴器販売者の技能向上研修等事業」に委員・講師を派遣し、運営等に協力しました。
- ④ 老人保健健康増進等事業「令和2年度高齢者に対する補聴器のフィッティングに関する調査研究事業」に委員を派遣し、運営や手引書作成等に協力しました。

第1号議案 事業報告

○その他の事業（定款第5条第2項）

実施しておりません。

〔主な活動内容〕

以下に2020年度の主な活動報告を記します。

- 4月 ○第44回理事会
- 5月 ○会計監査会
- 6月 ○第15回通常総会 ○第45回理事会
- 7月 ○総務委員会
- 8月 ○遠隔フィッティング勉強会（仙台）
○厚生労働省医政局補助事業 第1回事業企画推進委員会に出席
○老人保健健康増進等事業 第1回検討委員会に出席
- 9月 ○T.M.T. 26号発行 ○教育・研修委員会 ○講師派遣（特養老人ホーム喜久寿苑）
- 10月 ○教育・研修委員会 ○HHP研修会（Web 2回）
○講師派遣（補聴器販売者技能向上研修、IOFTセミナー）
- 11月 ○HHP研修会（Web） ○講師派遣（補聴器販売者技能向上研修）
- 12月 ○HHP研修会（大阪でのハイブリッド） ○講師派遣（補聴器販売者技能向上研修）
○厚生労働省医政局補助事業 第2回事業企画推進委員会に出席
○老人保健健康増進等事業 第2回検討委員会に出席
- 1月 ○第46回理事会 ○全難聴きこえの懇談会に出席
- 2月 ○HHP研修会（Web、東京でのハイブリッド 計2回）○広報委員会
- 3月 ○女性会議座談会（Web） ○T.M.T. 27・28号発行
○厚生労働省医政局補助事業 第3回事業企画推進委員会に出席
○老人保健健康増進等事業 第3回検討委員会に出席

※T.M.T.とは会誌「The MiMi Tribune」のことです。

HHP研修会 実施一覧

開催日	カテゴリー	タイトル・開催地
10/2	1	フィッティングケース記録の正しい記入方法（Web）
10/21	1	フィッティングケース記録の正しい記入方法（Web）
11/27	5	補聴器継続使用のための装用ケア（Web）
12/5	2	聴力測定の仕方と純音聴力測定のマスキングについて（大阪・Webのハイブリッド形式）
2/10	3	補聴器フィッティング事例検討会（Web）
2/25	2	純音聴力測定のマスキングについて（東京・Webのハイブリッド形式）

HHP全カテゴリー修了者 21名（2021年3月31日現在）

以上、2020年度の事業報告に当たり、会員各位のご協力に感謝申し上げます。

2020年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

2021年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会
(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
流動資産			
現金預金			
現 金	312,895		
普 通 預 金	796,553		
郵 便 貯 金	10,922,442		
流動資産合計		12,031,890	
資産合計			12,031,890
II 負債の部			
流動負債			
前 受 金	153,000		
仮 受 金	1,000		
流動負債合計		154,000	
負債合計			154,000
III 正味財産の部			
正味財産			11,877,890
(うち当期正味財産増加額)			(4,662,507)
負債及び正味財産合計			12,031,890

※正味財産には設立登記時の資産66,706円を含む。

第2号議案 決算報告

2020年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

自 2020年4月1日 至 2021年3月31日

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	予 算 - 決 算
I 収入の部			
1 会費・入会金収入			
入会金収入	130,000	150,000	△20,000
会費収入	8,500,000	8,540,000	△40,000
	8,630,000	8,690,000	△60,000
2 事業収入			
育成事業	450,000	992,000	△542,000
普及啓発事業	20,000	21,090	△1,090
	470,000	1,013,090	△543,090
3 補助金等収入			
助成金収入	300,000	300,000	0
	300,000	300,000	0
4 雑収入			
受取利息	100	35	65
	100	35	65
収入合計	9,400,100	10,003,125	△603,025
II 支出の部			
1 事業費			
育成事業	650,000	683,145	△33,145
普及啓発事業	600,000	545,436	54,564
研究事業	200,000	438,918	△238,918
	1,450,000	1,667,499	△217,499
2 管理費			
会議費計	2,650,000	306,840	2,343,160
理事会費	900,000	73,020	826,980
その他会議費	900,000	18,960	881,040
教育・研修委員会	300,000	176,500	123,500
広報委員会	250,000	15,000	235,000
総務委員会	200,000	23,360	176,640
ワーキンググループ等	100,000	0	100,000
総会費	1,300,000	1,165,335	134,665
旅費交通費	1,000,000	47,600	952,400
通信費	300,000	164,869	135,131
消耗品費	350,000	422,379	△72,379
図書費	5,000	0	5,000
支払手数料	40,000	34,210	5,790
賃貸料(家賃)	600,000	600,000	0
租税公課	3,000	0	3,000
顧問料(税理士他)	30,000	5,500	24,500
事務委託費	900,000	900,000	0
雑費	1,000	26,386	△25,386
渉外費	50,000	0	50,000
	7,229,000	3,673,119	3,555,881
支出合計	8,679,000	5,340,618	3,338,382
当期収支差額	721,100	4,662,507	△3,941,407
前期繰越収支差額	7,148,677	7,148,677	0
次期繰越収支差額	7,869,777	11,811,184	△3,941,407

※今年度はその他の事業を実施していません。

第2号議案 決算報告

2020年度 特定非営利活動に係る事業会計正味財産増減計算書

自 2020年4月1日 至 2021年3月31日

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会

(単位：円)

科 目	金 額	
(増加の部)		
資産増加額		
当期収支差額	4,662,507	4,662,507
負債減少額		
増加額合計		4,662,507
(減少の部)		
資産減少額		
当期収支差額		
負債増加額		
減少額合計		0
当期正味財産増減額		4,662,507
繰越正味財産額		7,215,383
期末正味財産合計額		11,877,890

2020年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

2021年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
流動資産		
現 金	312,895	
普 通 預 金	796,553	
郵 便 貯 金	10,922,442	
技能者協会	8,717,597	
JHITA研修会	2,204,845	
流動資産合計		12,031,890
資産合計		12,031,890
II 負債の部		
流動負債		
前 受 金	153,000	
仮 受 金	1,000	
流動負債合計		154,000
負債合計		154,000
正味財産		11,877,890

注記 普通預金 みずほ銀行 神田駅前支店 普通預金 2126161

郵便貯金

技能者協会 振替貯金 00130-5-631089

JHITA研修会 振替貯金 00180-1-299580

前受金

次年度分会費

(認定会員 1名分 12,000円)

次年度分受講料

(4/3研修会 36名分 94,000円)

(4/10研修会 15名分 47,000円)

仮受金

次年度分受講料

(4/3研修会 1名分 1,000円)

以上のとおり報告いたします。

2021年6月19日

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会

理事長 阿部 秀実

監査報告書

特定非営利活動促進法18条の規定に基づき2020年度(2020年4月1日～2021年3月31日)の業務監査及び会計監査を実施した。


業務監査(理事の業務執行の状況に関する監査)に当たっては、理事会他の会議に出席し、必要と認める場合には質問をおこない、意見を表明した。

会計監査(財産の状況に関する監査)に当たっては、財産の実在性を中心に、帳簿、証拠書類等の閲覧、照合、質問等を行った。

これらの監査の結果、当法人の業務は法令及び定款に基づき適正に執行され、会計処理は、NPO法人会計基準及び一般に公正妥当と認められる会計の方法によって適正に処理されているものと認められた。

ここに、上記期間に係る事業報告書が、同法人の業務執行の状況を示し、計算書類が2021年3月31日における財産の状況を適正に表示しているものである。

2021年 5月 13日

監 事 瀬 部 保 夫 

監 事 宮 永 好 章 